

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 29 日 (2007.3.29)

【公表番号】特表 2006-516394 (P2006-516394A)
 【公表日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-026
 【出願番号】特願 2006-501520 (P2006-501520)
 【国際特許分類】

A 2 3 G 4/00 (2006.01)

【F I】

A 2 3 G 3/30

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 31 日 (2007.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 2 つの個々の合着チューインガム構成単位を含むチューインガムタブレットであって、

前記チューインガム構成単位のうちの少なくとも 1 つが圧縮ガムベース顆粒を含み、そして

該圧縮ガムベース顆粒が少なくとも 1 つの生分解性ポリエステルポリマーを含むチューインガムタブレット。

【請求項 2】

実質的に全てのチューインガムポリマーが生分解性である請求項 1 に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 3】

生分解性ポリマーの少なくとも 1 つが、ガムベース顆粒の約 1 重量% ~ 約 100 重量% である請求項 1 または 2 に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 4】

前記生分解性ポリマーの少なくとも 1 つが少なくとも 1 つのアルコールまたはその誘導体と少なくとも 1 つの酸またはその誘導体との反応により生成されるポリエステルを含む請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 5】

前記アルコール誘導体がアルコールのエステルからなる請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 6】

前記生分解性ポリマーの少なくとも 1 つが少なくとも 1 つの環状エステルの重合により得られるポリマーを含む請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 7】

前記チューインガムが少なくとも 2 つの異なるポリマーを含む請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 8】

タブレットの少なくとも 5 重量% のガムベース含量を含む請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項

に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 9】

チューインガムタブレット（10、20、30、40、50）がタブレットの少なくとも10重量%、好ましくは少なくとも15重量%のガムベース含量を含む請求項1～8のいずれか1項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 10】

前記チューインガムが異なる濃度または組成のガムベースを有する少なくとも2つのチューインガム構成単位を含む請求項1～9のいずれか1項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 11】

少なくとも1つの生分解促進化合物を含む請求項1～10のいずれか1項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 12】

前記少なくとも1つの生分解促進化合物が酵素を含む請求項1～11のいずれか1項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 13】

前記生分解促進化合物が少なくとも1つのガムベース含有構成単位中に含有される請求項1～12のいずれか1項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 14】

前記チューインガム構成単位（11、21、31、41）の少なくとも1つが5重量%未満のガムベース含量を有する請求項1～13のいずれか1項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 15】

前記チューインガム構成単位（11、21、31、41）の少なくとも1つが実質的にガムベースを含有しない請求項1～14のいずれか1項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 16】

前記実質的にガムベースを含有しないチューインガム構成単位が主成分として甘味料を含む請求項15に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 17】

前記主成分として甘味料を含むチューインガム構成単位が、完全にまたは部分的にタブレットを封入するチューインガムタブレットのコーティングを形成する請求項16に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 18】

前記生分解促進化合物が、生分解性ポリマーを含む前記少なくとも1つの構成単位から分離された少なくとも1つの実質的にガムベースを含有しない構成単位中に含有される請求項1～17のいずれか1項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 19】

前記チューインガム構成単位の全てが圧縮により製造される請求項1～18のいずれか1項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 20】

前記チューインガム構成単位が圧縮により集結される請求項1～19のいずれか1項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 21】

少なくとも2つ、好ましくは全ての構成単位が一工程で圧縮されかつ集結される請求項1～20のいずれか1項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 22】

前記チューインガム構成単位の配合が異なる濃度または組成のチューインガム成分を有する請求項1～21の1項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 23】

前記構成単位がタブレット薄片状層である請求項 1 ~ 2 2 のいずれか 1 項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 2 4】

異なるチューインガム構成単位がタブレット中で分離されるよう意図される成分を含む請求項 1 ~ 2 3 のいずれか 1 項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 2 5】

前記チューインガム構成単位のうちの少なくとも 2 つが少なくとも 1 つの分離層により分離される請求項 1 ~ 2 4 のいずれか 1 項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 2 6】

前記ガムベースを実質的に含有しない層のうちの少なくとも 1 つの厚みが少なくともタブレットの最小幅を 2 0 で割った値より大きい請求項 1 ~ 2 5 のいずれか 1 項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 2 7】

前記ガムベースを実質的に含有しない層のうちの少なくとも 1 つの厚みが 0 . 5 mm、好ましくは 0 . 7 mm より大きい請求項 1 ~ 2 6 のいずれか 1 項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 2 8】

前記チューインガム構成単位が圧縮性チューインガム構成成分に基づいて製造される請求項 1 ~ 2 7 のいずれか 1 項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 2 9】

前記チューインガムがコーティングを含む請求項 1 ~ 2 8 のいずれか 1 項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 3 0】

前記ガムベースが該ガムベースの 1 . 0 重量 % 未満、好ましくは実質的に 0 重量 % の含水量を有する請求項 1 ~ 2 9 のいずれか 1 項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 3 1】

ガムベース顆粒のサイズが、圧縮前に 0 . 0 1 mm · 0 . 0 1 mm ~ 2 mm · 2 mm の範囲内、好ましくは 0 . 1 mm · 0 . 1 mm ~ 1 . 0 mm · 1 . 0 mm の範囲内である請求項 1 ~ 3 0 のいずれか 1 項に記載のチューインガムタブレット。

【請求項 3 2】

チューインガム構成単位のうちの少なくとも 1 つが有効成分を含み、それによりタブレットの前記チューインガム構成単位間の物理的または化学的相互作用を回避する請求項 1 ~ 3 1 のいずれか 1 項に記載のチューインガムタブレットの製造方法。